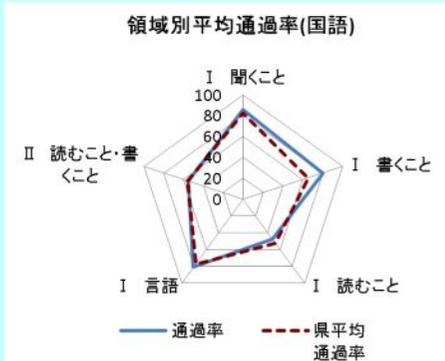
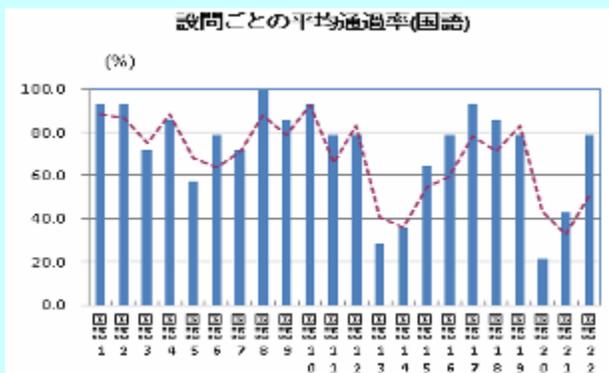


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 72.4%, 県 68.0%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○国語の結果において、タイプⅠは76.2%、タイプⅡは55.4%の通過率となっている。タイプⅠ・Ⅱどちらも県平均を上回っており、基礎的・基本的な学習内容は、概ね定着していると考えられる。

○領域別では「聞くこと」が85.7%、「言語」が81.3%の通過率になっており定着しているが、一方で「読むこと」が47.6%、「読むこと・書くこと」が55.4%となっており、今後も重点的な取り組みが必要である。

○昨年度と同じ「読むこと」「読むこと・書くこと」に課題が見られた。昨年度、課題を受けて、いろいろな資料を読み取り、論文、レポート形式で書いたり、条件に沿って書いたりする指導をした。その結果として、「書くこと」の領域は80.4%の通過率となった。今後も、学習活動の中で継続して「書くこと」の指導を行っていく。

重点課題

【課題1】

・物語文において、情景の描写を読み取ることはできているが、必要な部分を条件に合わせて抜き出すことができていない。(通過率28.6%)

【課題2】

・資料から必要な情報を選択することができていない。(通過率21.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・情景がより伝わる言葉に着目させながら、物語文を読み取るように指導する。
- ・根拠を見つけながら、論理的に読む指導をする。
- ・読解ドリルに継続して取り組ませ、条件に合わせて問題を解くことに慣れさせる。

【課題2】

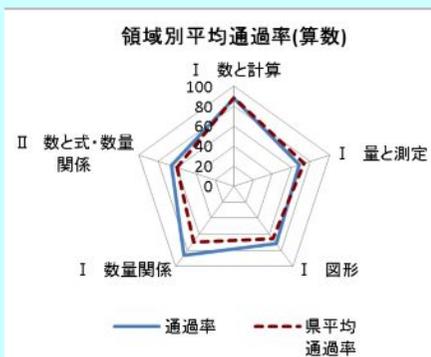
- ・設問を丁寧に読み、問われている内容を理解するように指導する。
- ・他教科でも、グラフ、表など資料の丁寧な読み取りをさせる。
- ・時間を意識して、資料等を読み取る練習をさせる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

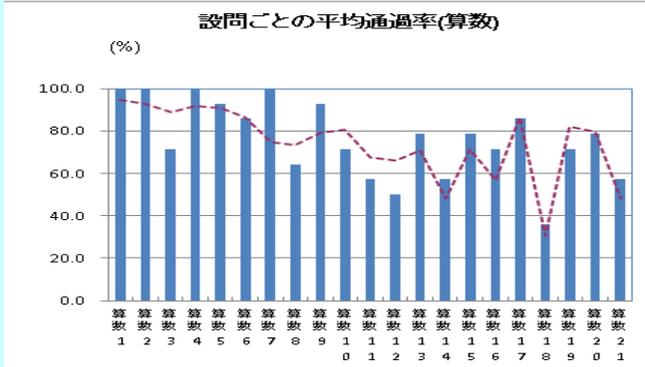
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.2%, 県 74.3%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○算数の結果において、タイプⅠは79.5%、タイプⅡは65.7%の通過率となっている。タイプⅠ・Ⅱどちらも県平均を上回っており、基礎的・基本的な学習内容は、概ね定着していると考えられる。

○しかし、タイプⅠ「量と測定」の領域で通過率67.9%、県平均を上回ったもののタイプⅡ「数量関係」の領域で通過率が低いものがある。

○昨年度、「数と計算 数量関係」について2問共課題が見られた。その内、目的に応じた計算結果の見積りについては、日常生活との関連を図った問題に取り組んだりキーワードに印をつけたりして取り組んだりした結果、昨年度を75%以上上回ることができた。しかし、グラフの関連付けについての問題は、記述式で解答するものでもあり、昨年度からの大きな課題である。

重点課題

【課題1】

・角の測定。2つの三角定規から示された角度を求める問題に課題がある。(通過率50.0%) 情報過多の中から、必要な情報を選ぶことができていない。求める角度の周りの角度を足したり引いたりして誤答となっている。

【課題2】

・二つの折れ線グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。(通過率35.7%) グラフの数値の読み取りや、グラフの目盛りの幅についての記述のみを解答している。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・角度を求める問題だけでなく、情報過多の問題から必要な情報を選ぶ問題に取り組ませる。
- ・見ただけで、どれくらいの角度を示しているかがわかるような数量感覚を育てる。
- ・様々な角度を求める問題に取り組ませる。

【課題2】

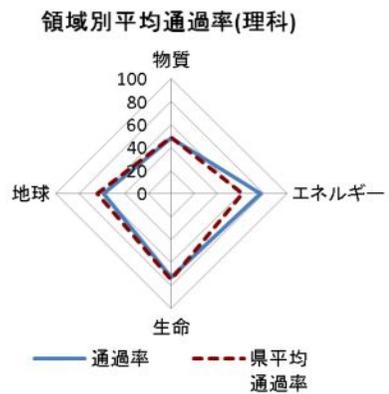
- ・様々なタイプのグラフを提示したり、目盛りの異なるグラフを提示し、その表題や数値を読み取る力をつける。
- ・2つの情報を読み取っていく課題を設定する。
- ・情報を整理して、筋道を立てて考えた思考の足跡が残るようなノートの工夫をする。その時間に分かった事を自分の言葉でまとめることができるようにする。
- ・家庭学習で予習したことが、本時に生かせるような授業展開を工夫する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

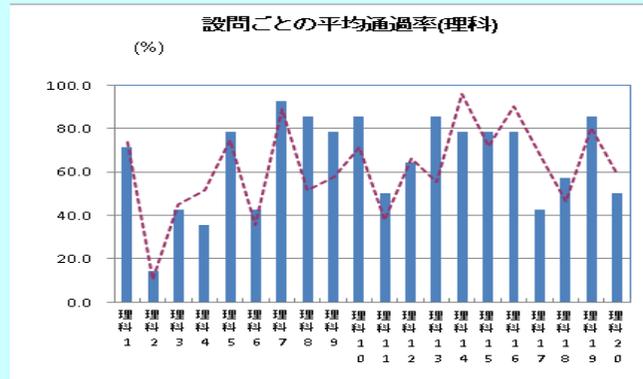
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 65.0%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○理科の結果において、タイプⅠは75.3%、タイプⅡは52.4%の通過率となっている。タイプⅠ・Ⅱどちらも県平均を上回っており、基礎的・基本的な学習内容は、概ね定着していると考えられる。

○領域別では、「エネルギー」77.1%「生命」72.6%と概ね定着が図られている。課題が見られた「エネルギー」(昨年度55%)は、かなり改善が図られたが、「地球」(昨年度73%)は58.9%と低下、「物質」は48.6%と低く、「地球」「物質」の2領域に課題が見られる。

○昨年度、いろいろな物質の重さを調べる際、同一「体積」で比較しなければならないという条件を理解できていないものがあつた。

- ・砂糖と食塩が同じ100gの重さで、砂糖の体積の方が大きい条件の中で、その重さを比較させる問題に課題があつた。「食塩の方が軽い」とした者が36%「同じ」とした者が27%。(通過率36.4%)と低かつたため継続して指導を行ってきた。

重点課題

【課題1】 金属のあたたまり方の仮説とその仮説に基づいた実験結果の予想を結びつけることができなかつた。仮説に基づいた実験結果の予想を正しく選べた児童は5名で、正しい金属のあたたまり方の正しい実験結果を選択した児童が8名いた。設問の内容を読み取れなかつたり、仮説と予想の整合性を検証することができなかつたりということが要因と考えられる。

【課題2】 影のでき方を、正しく理解できていなかつた。「日光」「太陽の光」と正解した児童は6名で通過率が42.9%であつた。誤答のほとんどが、「物」など他の言葉で8名いた。理科用語を用たり、自然事象を正確に表現したりすることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- 【課題1】
- ・正しい検証にたどり着くために、予想～仮説～実験・観察～結果と一連の流れをつかませる。
 - ・学習の進め方が間違つた方向に進んでいる児童に対して、仮説にもどりさせ実験・観察を再度検証させていく。
 - ・学習ノートの書き方の手順を定着させる。
- 【課題2】
- ・理科的用語を使った表現の仕方を授業のなかで深めさせ、書き方を定着させる。
 - ・実験・観察中のメモの取り方、まとめ方を理解させる。
 - ・図や言葉で見えてわかりやすいノートづくりを指導していく。

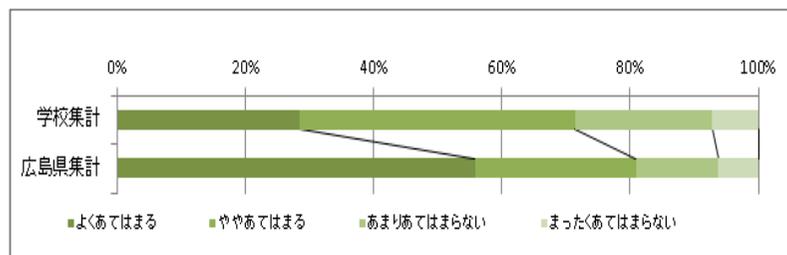
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元末テスト(思考)	全学年 三次市学力到達度検査	4年生 H29「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値				75%	学年別設定数値	50%	80%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

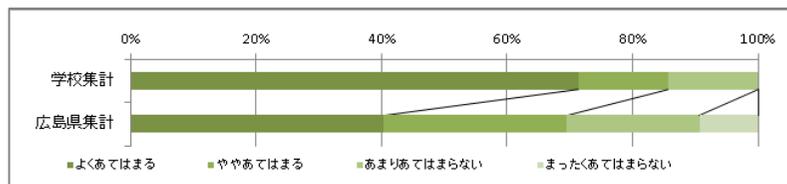
本を読むのが好きです



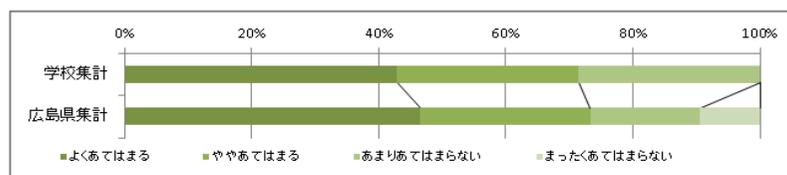
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「本を読むのが好きです。」 (よくあてはまる 28.6%)	「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した児童に焦点をあて、本を紹介したり読み聞かせをしたりして、本に興味をもたせる。 よくあてはまる児童をさらに伸ばしていくよう指導を進めていく。	5	60%	児童アンケート	2月		

(2) 教科

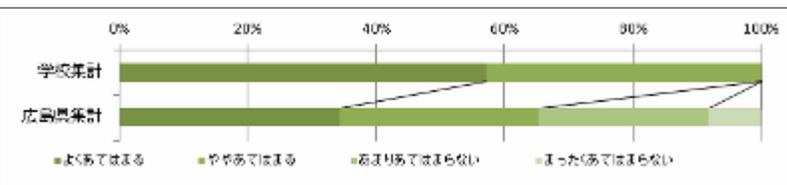
国語の授業では、わからない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の勉強が好きです。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、わからない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。」 (よくあてはまる 71.4%)	国語科においては、辞書を使ってわからない言葉を調べ理解しているが、全員が辞書を使って言葉を理解させるように細かな指導を進めていく。さらに国語科に限らず、他の教科等でも辞書を使い、辞書を使うことに慣れさせていく。	5	80%	児童アンケート	2月		
算数	「算数の勉強が大好きです。」 (よくあてはまる 42.9%)	算数の授業で、半具体物を使いながら、体験を通して理解を深める指導を行っていく。	5	70%	児童アンケート	2月		
理科	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」 (よくあてはまる 57.1%)	理科の授業では、説明・発表など肯定的評価は、100%であるが、説明・発表を文字でまとめることが、テストなどでは低い。そこで、説明・発表・まとめが一連の流れになるよう授業展開を工夫する。 発問の内容を精査し指導の工夫をする。	5	75%	児童アンケート	2月		